



2015年度大学での環境関連講座（5月14日）

地球環境委員会（委員長：角田裕一 住友商事(株)環境・CSR部長）は、2002年度から、環境分野における社会貢献活動の一環として、大学での環境講座を実施しており、将来を担う若い世代に、事業活動を通じた環境問題への取り組みの重要性を伝えるとともに、商社の環境管理体制、環境関連ビジネスを紹介している。

2015年度の講座は、5月14日に横浜国立大学大学院環境情報学府において、環境イノベーションマネジメント専攻の大学院生などを対象に行われ、委員会社2社が講師を務めた。

当日は、双日(株) 環境インフラ事業部再生可能エネルギー課担当課長 阿多弘康氏から、「再生可能エネルギーの現状と双日の取り組み」をテーマに、青森県をはじめとして国内4ヵ所で展開する太陽光発電（メガソーラー）事業などについて講義し、事業を通じて社会課題の解決に貢献する商社の姿を紹介した。続いて、(株)日立ハイテクノロジーズ



双日(株) 阿多氏

CSR本部環境推進部部長 綿村浩司氏から、「(株)日立ハイテクノロジーズの環境経営」をテーマに、環境適合製品の開発におけるアセスメントの仕組みなどを事例として挙げて講義し、製品・サービスを通じて持続可能な社会の実現に取り組む商社の姿を紹介した。



(株)日立ハイテクノロジーズ 綿村氏

講義後の質疑応答では、再生可能エネルギー事業におけるプロジェクトごとの発電量、アセスメントに基づいた製品開発の期間、環境法令に対する企業の関わり方などについて活発に意見、質問が出された。